

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	小学校学校建設事業		コード	担当課	教育総務課管理係
			03-01-07-02	担当者	坪本弘毅
事業実施期間	平成17年11月～平成18年3月				
	電話 0869-64-1802				
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	未来を支える人材を育むまちづくり			
	小項目	施設整備			
	施策	校舎等の計画的な改修			

事業について	
目的	小学校児童の心身の発達を助長する小学校の改修事業を実施し、学習環境の整備を図り、小学校教育の充実を図ります。
対象 (誰のために)	旧伊里中学校を小学校に改修整備工事
内容	施設の改修と、新しい教育内容・方法に対応する施設の整備を行う。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
施設整備事業積	2984㎡		
工事日数	151日		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	166,052	国庫補助金等	15,526	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	3,065	受益者負担	0	人件費		受益者負担	
			市債	117,400			市債	
	合計	169,117	一般財源等	36,191	合計	0	一般財源等	0

結果指標①	結果指標名	学校整備	
	結果指標量	1	
	単位	校	
	対前年比	—	
結果指標②	事業費	166,052,000	円
	単位当たりコスト①	55,650	円

事業の成果			
成果指標名	小学校の整備計画実行率	式又は説明	中期財政計画の実行率（計画事業の実施割合）を目的達成の指標にします。
成果指標量	17年度		
対前年比	100%		
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価			
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	施設の老朽化に伴い修繕費が増加傾向にあるので、突発的な修繕がないよう点検を怠らないようにしなければならない。
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	学校施設の改善には改築がもっとも有効であるが、計画的な改善により延命化を図る必要があります。
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	
コメント	改修整備工事を実施したことにより、教育環境の充実ができた。
評価区分	<A~E>
	B

今後の方向性		
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	学校整備	結果指標量②
目標値	100	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	事業を絞り、その事業に集中投資する。	平成18年度	教育環境の事業効果が素早く表れる。
効率性	工事実施に当たりコストの削減に努める。	平成18年度	削減されたコストを他の事業に使用できる。
有効性	特定事業については、プランニングから学校現場の意見を積極的に得る。	平成18年度	より一層の教育環境の充実が図られる。